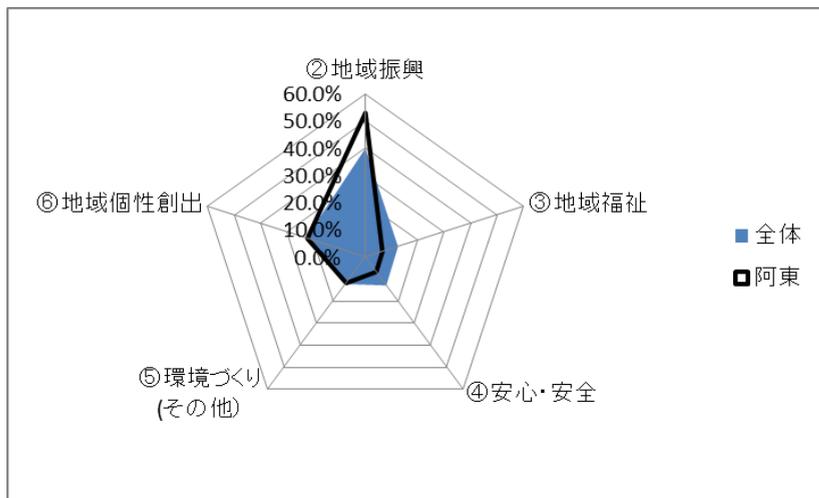


阿東地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成30年度)

■地域の情報

地域人口	5,084人	自治会数	123
世帯数	2,395世帯	自治会加入率	96.0%

※数値は、平成31年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	13,628,000 円
交付金決算額	12,239,522 円
その他収入	43 円
交付金決算額／配分額	89.8%

各分野の決算

①協議会運営	8,009,798 円
②地域振興	2,240,462 円
③地域福祉	273,925 円
④安心・安全	282,647 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	498,024 円
⑥地域個性創出	934,709 円
決算総額	12,239,565 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

2018年からの5年間で取り組むべき課題

「社会変化に対応したいつまでも笑顔で安心して暮らせる地域のしくみづくり」

■総括

昨年は組織体制の見直しと第2次地域づくり5カ年計画の策定を行い、5地域の地域づくり協議会を軸とした事業の展開をはかり、取り組みに応じた成果が上がったものとする。すべての世代がふるさとへの誇りを持ち、みんなで作る阿東地域を目標とした地域住民総動員による持続可能な地域コミュニティの形成は、地域の背景や現状が異なることから、地域の実情に応じて、みんなが繋がって進んでいく事業を展開した。

人口急減と少子高齢化の進む中、いつまでも笑顔で安心して暮らせる地域をめざし、新たな考え方や視点を取り入れるため、周防大島の研修視察や研修等を実施し、地域内外とつながり、地域を拓いていくことが大切であると感じた。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費
② 地域振興	<p>【各地区協議会集約分】 生雲ふれあいフェスタ【生雲】 サマーナイトフェスタ【生雲】 新春交流会【生雲】 祭りを盛り上げよう【生雲】 盆踊り大会【生雲】 空き家活用プロジェクト事業【地福】 課題解決のための学びの場開設事業【地福】 小中学生夢の絵【徳佐】 坂手自治会体育祭【徳佐】 ふるさと徳佐夏祭り【徳佐】 さくら祭り俳句大会【徳佐】 サマーフェスティバル【嘉年】 イルミネーション事業【嘉年】 グラウンドゴルフ大会【嘉年】 ふれあい運動会【嘉年】 ほたる鑑賞会【嘉年】 若者支援事業【嘉年】 広報誌発行【徳佐】 広報誌発行【嘉年】 地域づくり人材のための研修視察【地福】 生活支援サービス構築事業【地福】 しのぶ元気塾【篠生】 氏原大作平成顕彰会【篠生】 篠生史跡めぐり【篠生】</p> <p>【阿東全体分】 地域広報誌発行 研修視察 リーダー養成研修会 明治維新150年記念事業 ありがとうC56おもてなしイベント 石州街道一里塚跡の整理</p>

③ 地域福祉	<p>【各地区協議会集約分】 福祉的まちづくりを考える会【徳佐】 寝たきりにならない為の食生活について【徳佐】 地域支え合い事業【地福】 コミュニティ機会創出事業【地福】 三世代交流イベント【篠生】 三世代交流会【徳佐】</p>
④ 安心・安全	<p>【各地区協議会集約分】 防災対策テントおもり【篠生】 防災活動地域活動会【篠生】 自主防災【生雲】 自主防災【嘉年】 除雪事業【嘉年】</p> <p>【阿東全体分】 あとう防災減災講演会</p>
⑤ 環境づくり	<p>【各地区協議会集約分】 小中学校奉仕活動支援【徳佐】 ふるさと意識啓発事業【地福】 ふるさと標語看板の設置【篠生】 地域清掃活動【生雲】 桜の園【生雲】 長門峡入口周辺の美化活動清掃活動【篠生】長門峡溪谷遊歩道清掃活動【篠生】 芝桜植栽後の管理【篠生】 コスモス等の植栽【篠生】 徳佐地区クリーン作戦【徳佐】 鍋倉環境美化【徳佐】 和田山公園整備【嘉年】</p> <p>【阿東全体分】 JR沿線環境整備事業 国道315号花壇整備 ふれあい広場整備事業</p>
⑥ 地域個性創出	<p>【各地区協議会集約分】 肝だめし会【生雲】 子供みこし【生雲】 生雲どんど【生雲】 花車巡行【生雲】 地域の誇り伝承事業【地福】 お田植祭り【徳佐】 どんど焼き【徳佐】 21踊りの継承【徳佐】 はやしだ保存会【徳佐】 神楽舞保存活用事業【嘉年】 嘉年自治会マップ【嘉年】 長門峡もみじ祭り【篠生】 長門峡夏祭り【篠生】 クリスマスナイトフェスティバル25周年記念事業【地福】秋桜コンサート【徳佐】 やまびこ合唱団【徳佐】ヤマシヤクまつり【徳佐】 読み聞かせ【生雲】 読み聞かせ【徳佐】 学びの場開設事業【地福】 未来の担い手育成事業【地福】</p> <p>【阿東全体分】 嘉年自治会マップ 文芸阿東発刊</p>

■重点的に取り組んだ事業

	事業名	地域づくり計画推進(視察研修)	決算額	193,745円
	目的	人口減少に歯止めをかけるため、周防大島町定住促進協議会の取り組みを学ぶことにより、解決の糸口を探し、阿東地域のコミュニティの構築に生かしていく。		
	実施内容	周防大島町定住促進協議会の取り組みを学ぶとともに現場の声を聴くための視察研修を実施した。		
	実施時期	平成31年3月15日		
	参加人数	20名		
①	成果	周防大島町定住促進協議会の企画や戦略などを研修し、ターゲットの絞り方、役割分担、取り組みの背景にある狙いや考え方などを学ぶことができ、移住定住に対する視点が変わった。また、移住者の地域に対する考え方や地域とともに地域づくりに取り組む姿を見ることができ、お互いの特性を生かして実践していくことが大切であると実感できた。		
	評価	定住促進とは誰のため、何のために行うのかを今一度考える良いきっかけとなった。持続可能な地域コミュニティの形成は、誰かが我慢するのではなく、共通の目標に向かって誰もが協調できる地域にしていくことが大切である。		
	今後に向けて	新しい視点や考え方を取り入れるとともに地域内、地域間の交流や連携をしていくことが重要である。そのためにも研修や意見交換の場を通じた話し合いの機会を増やしていきたい。		
	事業名	地域づくり計画推進(リーダー養成研修会)	決算額	85,352円
	目的	阿東地域の若い担い手が地域づくりについての考え方やノウハウを学び交流を図ることで、各地区の次世代リーダーを養成するとともに、5地区のネットワークを構築し主体的に地域づくりに関わる意識の醸成を図る。		
	実施内容	これから各地区の現状及び今後想定される地域課題についての分析、共有するとともに、これからの地域づくりにおける考え方やノウハウを学ぶ、講座の実施した。		
	実施時期	平成30年12月20日、平成31年2月15日、平成31年3月1日		
②	参加人数	延べ50名		
	成果	阿東地域内の30～50代を対象に、地域づくりの考え方や人口分析等を行うことで、現状を把握・共有することができ、参加者の意識の変化がみられた。また、地域の担い手が集まり、地域課題について、意見交換できたことは連帯感を高めることにつながった。		
	評価	地域のプレイヤーである世代が、地域づくりの考え方等を学ぶ講座に、受講者が主体性を持って参加したことは大きな一歩と考える。また、顔見知り程度であった関係性から、事業後も連携できる人材ネットワークづくりのきっかけできた。		
	今後に向けて	これからの地域づくりは、新たな考え方、視点を取り入れ、地域内外につながるものが大切である。今後も地域力向上のため、継続的に学びの場を設けていきたい。		

	事業名	地域振興活動推進(明治維新150年記念事業)	決算額	162,475円
	目的	明治維新150年を契機に、各地域に埋もれた「隊中様」を掘り起こし、各地域と交流、連携して、地域の歴史・文化・伝統を再発見し、地域の誇りと愛着心を育む。		
	実施内容	平川地区藤山佐熊奉賛会の隊中様慰霊祭に参加し、交流を図るとともに明治維新の知識を深める研修を実施した。隊中様にゆかりのある地域とともに隊中様サミットを開催し、各地域の活動報告会と隊中様に係る講話を実施した。阿東隊中様顕彰会を設立し、特別記念講演会を実施した。		
	実施時期	4月9日、11月17日、31年3月23日		
③	参加人数	14人	50人	40人
	成果	平成26年度より、明治維新150周年記念事業に取り組んだ結果、「隊中様」と出会い、隊中様ゆかりの地域と交流が生まれた。また、明治維新に関連する戦没者を顕彰する阿東隊中様顕彰会を設立し、持続的な活動ができる基盤ができた。		
	評価	阿東地域の明治維新を深めることにより、地域で活躍した志士がいたことがわかり、地域の誇りにつながった。また、行政に頼ることなく隊中様ゆかりの地域がつながり、交流が生まれたことは今後の活動に力を与えるものである。		
	今後に向けて	今後は阿東隊中様顕彰会が中心となり、明治維新で活躍された人を後世に伝えていくとともに、交流のあった地域とさらなる連携を深め、地域の魅力と誇りを未来へ発信していきたい。		